

関西学院大学大学院 総合政策研究科 リサーチ・コンソーシアム 連携公開ゼミナール

関西学院大学大学院総合政策研究科リサーチ・コンソーシアムでは、このたび、総合政策学部の教員による公開でのオープンゼミナールを開催することとなりました。

総合政策学部ならではの多彩なトピックスで現在、第4回までの開催が決定しております。皆様方と共に“Think Globally. Act Locally -今、身近な問題から世界の扉を開く-”という第11回リサーチ・コンソーシアム総会のテーマの観点から考えることができればと思います。ぜひご参加ください。

※原則、第4水曜日の18:30～20:00 関西学院大学 大阪梅田キャンパスにて開講（入場無料・事前申込不要）



第1回 5月27日（水）18:30～20:00

「サブプライム・ローン問題に見るアメリカ -総合政策的視点から-」

久保田 哲夫 教授

会場：大阪梅田キャンパス アブローズタワー 14F 1402 教室

ようやく沈滞から脱出できるかに見えた日本経済が、アメリカ発の不況によって再び景気悪化の波に飲み込まれようとしている現在、これからの世界がどうなっていくのか予断を許しません。1930年代の大不況の悪夢をもう一度経験することになるのか、それとも各国の協力で回復を果たすのか。人類が同じ失敗を繰り返さないための賢明さを持っているかどうかが問われています。

参加する皆さんからいろいろな質問や意見を出していただき、経済的、政治的な側面にとどまらず、幅広い視点から、今後の課題を検討してゆきます。

第2回 6月24日（水）18:30～20:00

「日米社会構造の比較」

今泉 信宏 教授

会場：大阪梅田キャンパス アブローズタワー 10F 1004 教室

私たちのゼミでは日米社会構造比較をメインテーマとしています。3回生はアメリカの少数民族史を学び、アメリカ史を少数民族の立場から検証し直しています。4回生は日本の社会構造に焦点をあて、アメリカと比較しながら、外圧による変化ではなく、内なる社会変革の可能性を見出そうとしています。本日は教授と学生のプレゼンテーション後、英語と日本語でディスカッションを行います。学生が日本の社会構造をどう観るか、またアメリカに何を学んだのか、そしてそれをどう生かそうと考えているのかなどを考察します。

第3回 6月30日（火）18:30～21:00

「持続可能な地域形成とエリアマネジメント」

角野 幸博 教授

会場：大阪梅田キャンパス アブローズタワー 14F 1401 教室

ストック型社会を運営するマネジメントについて幅広い視点から議論し、調査・研究等を踏まえて政策提言等を行う目的から「ストック型社会マネジメント研究会」を立ち上げ、ストック重視の住宅政策やストック型経済への転換を想定して産官学の住環境に関わる専門家が集まり議論を戦わせている。

この第4回研究会を、総合政策研究科リサーチコンソーシアムと連携して、公開にて開催する。

第4回 7月22日（水）18:30～20:00

「危機管理と減災」

室崎 益輝 教授

会場：大阪梅田キャンパス アブローズタワー 14F 1402 教室

阪神・淡路大震災を経験して、日本の防災対策は大きく変化した。その変化を的確に表現するキーワードとして「危機管理」と「減災」の2つを指摘することができる。従来の防災と新しい減災はどう違うのか？従来の防災対策と新しい危機管理はどう違うのか？この違いを明らかにしつつ、これからの巨大災害への備えのあり方を具体的に明らかにする。

自治体の防災対策だけでなく、事業所やコミュニティさらには家庭における防災対策の今後を展望する。



新学科開設記念プログラム開催中！

関西学院大学 総合政策学部

〒669-1337 兵庫県三田市学園 2-1 TEL. 079-565-7601

http://www.kwansei.ac.jp/s_policy/index.jsp